

Shinagawa Shonosuke

品川正之介さん



Work

- HafH Nagasaki Garden管理人
- YouTuber ○観光アプリの記事作成
- サイクリングツアーのガイド

Area 東京都 ▶▶▶ 長崎市

「長崎に移住して最初に迎えた朝を忘れられませんでした。」

そう話すのは品川正之介さん。横浜生まれの品川さんは大学卒業後、東京で会社勤めを五年ほど経験。「東京のワンルームマンションから見える景色に対して長崎の朝の美しいこと。高い空、山の斜面から麓にかけて建ち並ぶ家々。そして降り注ぐ日差しと鳥の声。その光景の素晴らしさに、長崎に来て良かったと思いました」。

品川さんが長崎に出合ったのは、大学二年生の頃。所属していた国際交流サークルで、外国から学生を招いて長期滞在をし



てもらうプログラムの目的地が長崎だったことから、最初は彼らに長崎の魅力を伝えるために、勉強を始めたという。そのとき感銘を受けたのが、長崎の歴史と文化の奥深さだった。

都会での暮らしとは別の生き方をしてみたいと思っていた品川さんは「一生に一度は長崎の歴史と文化を深掘りしたい」という夢を叶えるため退職を決意。長崎で暮らすことを選んだ。

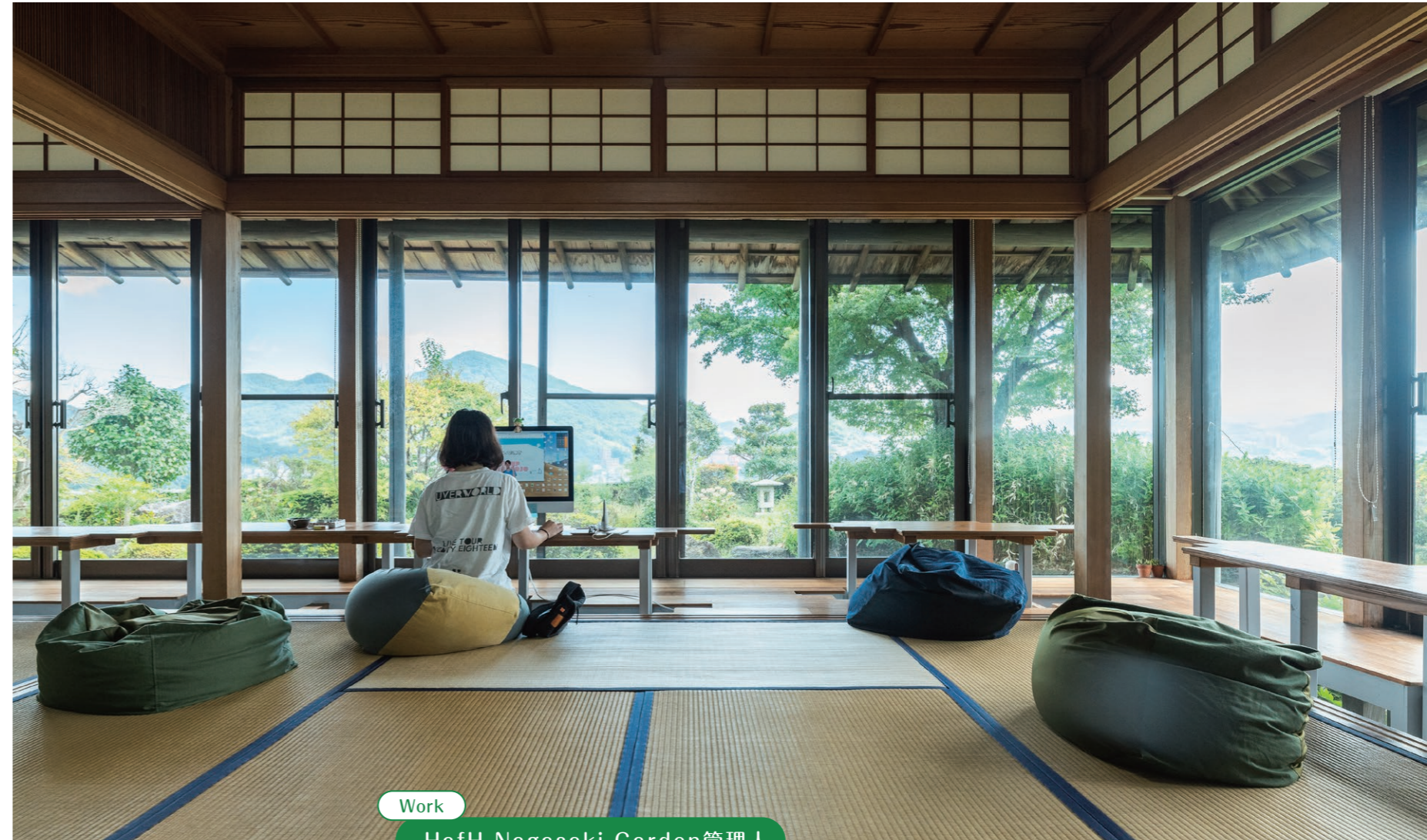
移住の決め手の一つとなったのは、定額で世界中に住み放題となるサービスを提供する「HafH」の存在だった。加えて、長崎県にはHafHの直営店が三つあることも知り、「これなら身一つで長崎へ行って大丈夫」と思ったという。その内の一つ、長崎市西山地区にあるHafH Nagasaki Gardenが、品川さんが移住後初めて感動の朝を迎えた場所である。

邸宅という名にふさわしい建物の中は、大きなガラス窓が印象的な造りで、コワーキングス

東京を出た時は「住所不定の無職」でした(笑)。仕事は長崎で何かやろうと思っていたし、「若いうちにやりたいことをやろう!」と思っていたんです。



大好きなまちでゆるやかな共同生活をとことん楽しむ。



Work HafH Nagasaki Garden管理人

品川さんが管理人を務める「HafH Nagasaki Garden」のコワーキングスペース。日本庭園を望む空間では、利用者が自由に仕事や読書をしている。

ペースやキッチンなど、どこからでも長崎らしい斜面地の風景を眺めることができる。品川さんは現在、この管理人を務めている。「ここには、全国から多くのリモートワーカーが訪れます。個室を持ちながらも、共有スペースで仕事をしたり、時には庭でパーベキューをしたりなど、皆でゆるやかな共同生活を楽しんでいきます。こうした人との出会い、つながりもHafHでの暮らしの醍醐味ですね」と品川さん。静かな邸宅では現在、年代の異なる七名が暮らしているという。そこには、大人同士だからこそ実現する新しい暮らし方があった。





品

川さんは管理人という仕事の他に、YouTubeで長崎の魅力発信する活動や、長崎の観光アプリの記事作成などを行っている。中でも最近取り組み始めたのが、サイクリングツアーのガイド。品川さんは出島やオランダ坂、眼鏡橋などをめぐる「長崎の和華蘭を感じるコース」を担当し、観光案内をしているそう。坂の多い長崎をなぜ自転車で？と思う方もいるかもしれませんが。でも実は主要な観光地は平道でつながっていて、意外にも長崎は自転車でもわるのに適したまち。自転車めぐりからこそ、普段は気付けない裏道や日常の風景に出合うことができます。

「長崎の魅力を語り出すと、三日はかかりますね」「長崎の奥深い魅力にふれるたびに、これを理解するためには寿命が足りないんじゃないかと思って、最近健康に気を遣い始めました」と、長崎愛が止まらない品川さん。長崎の歴史に関する本を百冊以上読み、特に異文化交流の歴史には興味が尽きないと話す。そんな品川さんが幸せを感じるの、散歩の時。「長

崎って、まちの中を歩いていると、ふとした瞬間に息を呑むような風景に出会うんです。斜面を下っている時に突如現れる、風情ある町並み。また夕暮れ時、出島のそばを歩いていると、空がオレンジからピンクのグラデーションになり、呆然となります。僕の最近の口癖は「長崎は銀河系で一番のまち」。冗談だと思われがちですが、結構本気なんです(笑)。

品川さんは将来の夢を「長崎の文化財や町並みを活かした仕事を作りたいですね。外から来た人の目線で、その街の魅力を掘り起こし、その価値を人に伝え、またそこから新たな価値を生み出す。そんな仕事をしたいですね」と語る。

人生で大事にしていることは、人それぞれ異なる。もちろん地域の魅力も千差万別。品川さんは「自分の人生と地域をうまくマッチングさせるためには、まずはその両方を十分に理解することが大切」だと話す。彼と長崎のまちは、間違いなく最高の組み合わせに違いない。

Work

サイクリングツアーのガイド

サイクリングツアーでめぐる場所は、長崎らしき満点の風景が広がる。電動自転車なので、オランダ坂もラクラク!



Work

YouTuber

大好きな坂道で、YouTubeの撮影中。長崎の魅力を世界中に発信!



長崎で働く、暮らす。Shinagawa Shonosuke

Enjoy

地域活動



「居留地男性合唱団」でのコーラスや地域清掃など、地域活動にも積極的に参加している。地元の人たちとのふれあいが楽しい。

Relax

まち歩き&食事

「商店街にある食堂でよくご飯を食べます。看板猫が可愛いんですよ」。長崎に来て、地域猫の多さにビックリ!犬派だったのに、すっかり猫派になってしまったとのこと。



Enjoy

長崎の魅力発見!

長崎の好きな場所のひとつ「祈りの三角ゾーン」。教会と寺と神社が接するここは、多文化が共生している長崎らしい場所。

